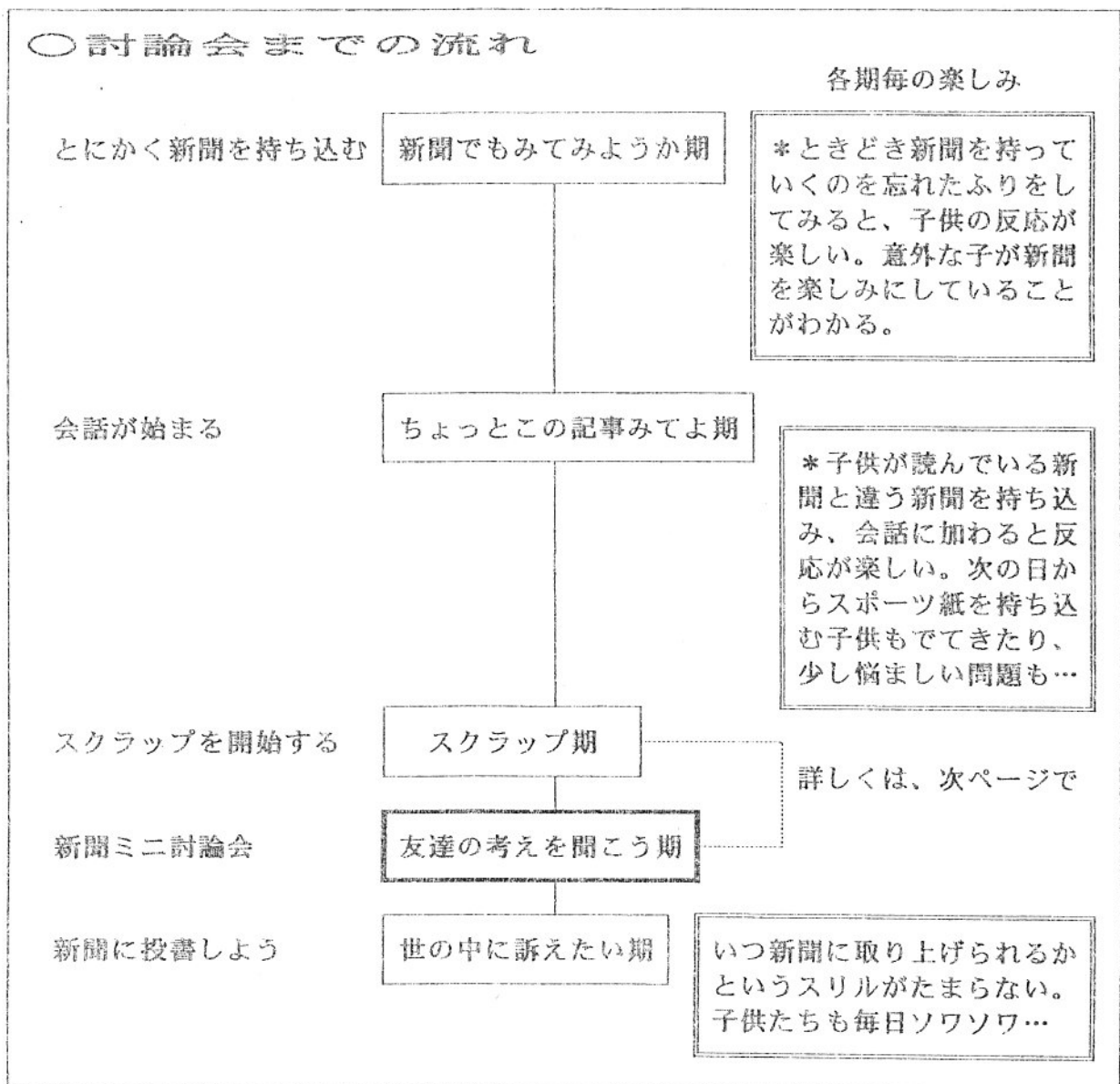


高学年	新聞ミニ討論会	帰りの会
実践の時期	平成6年(松陵小学校)	仙台市立将監小学校 教諭 福岡 徹也
実践のねらい	やさしさを持っている児童のよさを生かすとともに、他の友達の考えも聞いてあげようとする態度を身に付けさせたい。また、世の中の動きにも目を向けるきっかけにしたいと考えた。	
新聞活用のねらい	新聞を置いておくだけで、子供たちは会話をはじめ。その機会をとらえ討論会を仕掛けることで、上記のねらいを達成しようと考えた。その話し合いの中心となった記事を掲示することで更に会話に広がりが見られるものと考えた。	
実践収録資料	平成6年度NIE研究収録第6号	

### ◎実践の概要



## ◎スクラップの実際

「みんなよく新聞を読むようになったので、5年生らしい知的作業に入りましょう。」

—— ぼくの・わたしのスクラップ ——

- ① 日直になったら、新聞で一番気になった記事を切りぬく。
- ② 自分の考えをその下に書く。
- ③ 日付と氏名を書く。
- ④ スクラップコーナーに掲示する。

## ◎新聞ミニ討論会の実際

### 方針

- ① 聞かせることに重点をおく。
- ② 友達の意見を聞いて、自分の意見を見つめ直させるところに重点をおく。

### いつ

週1回程度（月曜）帰りの会。

### だれが

司会は時間の都合もあるので担任が行う。

パネラーとして5人の子供。（輪番制）

### どのようにして

パターンは3つほどあるが、第1パターンを例としてあげる

- ① 貯めてきたスクラップの中から、または、話し合いたい話題が児童の中にあればそれをテーマとして設定し、土曜の帰りの会（または金曜）に連絡する。自分の意見をご意見カードに記入させる。—15分程度—
- ② 月曜帰りの会に討論会をする。—15分で時間切れ—
- ③ 5人の子どもに自分の意見を発表させる。（意図的氏名によるが、全員にあたるように配慮）1人1分で時間切れ。時間切れでチャイムなるタイマーを使うと緊張感があって楽しい。
- ④ 質問タイム。
- ⑤ 討議タイム。

### —— 討論ワンポイントアドバイス ——

\*一人一人自分の立場をはっきりさせると討論に熱が入る。具体的には、5人のパネラーの意見を聞いて、自分の意見と近い人のところに名札をはる。そこから討論開始。  
\*話し合い自体の習得をねらわないが、ディベートのルールはどんな話し合いの時にも使えるので、身に付けておくと良い。

### —— 話し方のルール ——

#### 賛成・同調

「\*\*さんの意見の\*\*とわたしの意見は同じです。」

「\*\*さんの意見と始めは違っていました。意見を聞いて納得しました。今のわたしの意見は\*\*です。」

#### 反論

「\*\*さんの意見は\*\*ということでしたが、わたしは反対です。その理由は、\*\*です。」

#### 付足し

「\*\*さんの意見とだいたい同じですが、\*\*ということをつけ足したほうが良いと思います。」

\* 手軽な記事から重い記事へと、難易度も考えたほうがうまくいきます。